

こんにちほん  
えほん



赤ちゃんがはじめて出会う絵本  
図書館員のおすすめブックリスト

掛川市立図書館

## 赤ちゃんといっしょに

赤ちゃんのときには、たくさん抱っこしたり、声をかけてあげたほうがいいそうです。これから赤ちゃんといっしょに、どんなふうに過ごそうと思っていますか？

「絵本を読む時間」を取り入れてみてはいかがでしょうか。

質の良い本（絵本）は“こころ”と“ことば”を育てるといわれています。

きっと絵本を読んでいる時間は、赤ちゃんも、読んであげている人も、ゆったりした気持ちになれるでしょう。そして、そうした時間は将来、かけがえのない思い出になることと思います。

図書館では、そのためのお手伝いをしたいと考えています。ぜひ、図書館をご利用ください。

お子さんといっしょに、たくさん絵本を楽しんでくださいね。



### —小さいお子さんのおはなし会—

毎月第1・2金曜日 午前10時30分から

#### えほんのへや

場所：掛川市立中央図書館 児童閲覧室 おはなしのへや

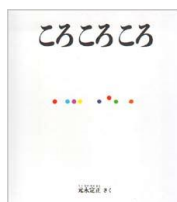
#### おはなしたまご

場所：掛川市立大東図書館 おはなしのへや

赤ちゃんから4歳くらいまでのお子さんと、保護者の方を対象に、絵本のおよみかせと手あそびなどをします。

## いろ・おと・かたち

音やリズムのくり返しは、声に出してみると、楽しさがよくわかります。  
色や形の組み合わせも楽しい絵本です。



『ころころころ』  
元永定正 作

福音館書店

いろいろな色の小さな玉が、いろいろな道をころころころがっていきます。玉のはねかたで、リズムが聞こえてくるような絵本です。



『もこもこもこ』  
谷川俊太郎 作  
元永定正 絵

文研出版

絵とことばが合っていて、力強く、楽しい絵本です。  
さいごの「もこ」が期待感をもたせて、より楽しい気持ちになります。



『ごぶごぶ ごぼごぼ』  
駒形克己 作

福音館書店

ぶくぶくぶくん ごぶごぶ ごぼごぼ じゃわじゃわじゃわ。いろいろな音の響きやリズムの楽しさを、色鮮やかなOの動きで表現します。穴あき絵本。



『てんてんてん』  
わかやましずこ作

福音館書店

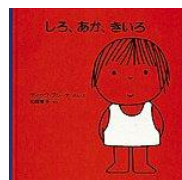
てんてんてん はテントウムシ、ひらひらひらは？  
模様と音で、なにかを連想します。シンプルな絵と、色づかいにひきつけられます。



『じゃあじゃあ びりびり』  
まついのりこ作・絵

偕成社

身のまわりから聞こえてくる音をあつめた絵本です。何からどんな音が聞こえてくるかがわかります。  
音の絵本はリズム感が大切です。



『しろ、あか、きいろ』  
ディック・ブルーナ作  
松岡享子 訳

福音館書店

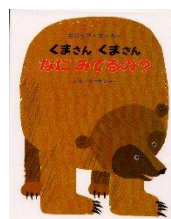
くつしたは赤、ブラウスはきいろなど、その部分にしか色をつけていないので、その色をなんというのかわかります。  
うさこちゃんシリーズをかいている、ブルーナさんの色の絵本です。



『とつとつ とつとつ』  
まついのりこ 作

童心社

耳にも口にも心地よい「とつとつとつとつ」のくり返し。  
しゃべりはじめたところにぴったりの絵本です

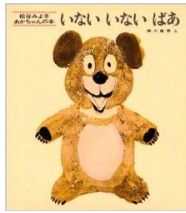


『くまさんくまさん  
なにみてるの?』  
エリック・カール絵  
ビル・マーチン文

偕成社

茶色いくま、赤い鳥など、動物と、ことば遊びや色彩を楽しむ絵本です。

## あそび



『いない いない ばあ』  
松谷みよ子 文  
瀬川康男 絵

童心社

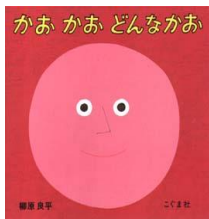
赤ちゃんの大好きなあそび、「いないいないばあ」の絵本です。赤ちゃんも絵本を楽しむことに気づくでしょう。



『いい おかお』  
松谷みよ子 文  
瀬川康男 絵

童心社

表情あそびの本。にっこり笑って、いいおかおされたら、とても幸せな気持ちになりますね。



『かあ かあ どんなかあ』  
柳原良平 作・絵

こぐま社

顔の動きは赤ちゃんが最初に興味を示すもののひとつです。いろいろな顔の表情が、いろいろな形にいろいろな色で描かれています。



『おつむ てんてん』  
なかえよしを 文  
上野紀子 絵

金の星社

ごろあわせのような、リズム感のよいことばに合わせて、からだをさわってもらうのは、赤ちゃんにとって、とても楽しいことです。

赤ちゃんは遊びをとおして、いろんなことを感じとっていきます。赤ちゃんといっぱい触れ合って、おはなししてあげてください。



『くっついた』  
三浦 太郎 作

こぐま社

ページをめくると・・・くっついた！さいごにはおとうさんとおかあさんとくっつきます。くりかえしが楽しく、幸せな気持ちになれる絵本です。



『でてこい でてこい』  
林 明子 作

福音館書店

いろいろな形の中から、「でてこい でてこい」のことばで、かえるやうさぎが出てきます。色づかい、ことばのリズムが合っている、楽しい絵本です。



『あがりめ さがりめ』  
いまきみち 作

福音館書店

赤ちゃんが大好きなあそび、「あがりめさがりめ」と、「いないいないばあ」。さいごにビックリがまっています。



『だれかしら』  
多田ヒロシ 作

文化出版局

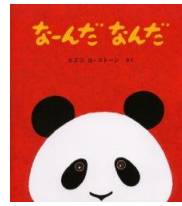
きょうは、たんじょうび。「とんとんとん」とドアをたたいて、おともだちがやってきました。窓から、一部がみえているので、だれかなと想像します。



『たんだん ぼうや』  
神沢利子 文  
やぎゆうげんいちろう 絵

福音館書店

小さい子は、ものまねがとくいです。まねっこあそびの楽しさと、子どもの元気のよさが伝わってくる絵本です。



『なーんだ なんだ』  
カズコ・G・ストーン 作

童心社

「なーんだなんだ、くろいのなんだ？」歌のような楽しいことばとともに、ゆっくりゆっくり、パンダさんが出てきます。



『はねはね はねちゃん』  
中川李枝子 文  
山脇百合子 絵

福音館書店

はねちゃんが、いろんな動物とたいそうします。おんなじようにできるかな、とからだを動かしたくなります。



『きんぎょがにげた』  
五味 太郎 作

福音館書店

きんぎょばちからにげ出したきんぎょは、カーテンの模様の中にかくれたり、花の中にかくれたり……。楽しい絵さがしの本です。



『びよーん』  
まつおかたつひで 作

ポプラ社

かえるかびよーん。いぬかびよーん。かたつむりが……。びよーんのくり返し楽しい絵本です。



『おととと』  
とよたかずひこ 作

岩崎書店

おとうさんみたいに大きくなりたいな。肩車してもらったら、おとうさんより大きくなったよ。おとうさんとのふれあいがあたたかい絵本です。

## すきなもの

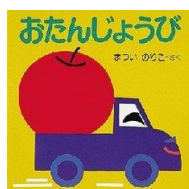
—たべもの—



『りんご』  
松野正子 文  
鎌田暢子 絵

童心社

あか、きいろ、ピンクのりんご。おかあさんに皮をむいてもらって、しずくなったりんごがいっぱい。食べるのを待ちわびる気持ちと、一緒に食べる喜びが伝わってきます。



『おたんじょうび』  
まついのりこ作

偕成社

おたんじょうびの楽しいに、いろんなたべものが運ばれてきます。わかりやすいハッキリした絵で表現されている文字なし絵本。お話を作ってみるのも楽しいですね。



『くだもの』  
平山和子 作

福音館書店

りんごやももなど、まるごとのくだものと、食べられるようにしたくだものが、交互に描かれています。くだものみずみずしさを感じられる、すばらしい絵です。



『まるくて いいしょ』  
こにしえいこ 作

福音館書店

いろんな色、大きさのまる。ページをめくると、子どもたちの大好きなケーキ、クッキーなど、「まるくておいしいもの」があらわれます。

自分が大好きなものが出てくる絵本は、やっぱり大好き。赤ちゃんが好きな食べ物・のりもの・動物が出てくる絵本です。



『おにぎり』  
平山英三 文  
平山和子 絵

福音館書店

おにぎりのできるまでが、手をアップに描かれています。のりをまいてできあがったおにぎりのおいしそうなおこと！思わず手をのばしたくなります。



『しろくまちゃんのほっとけき』  
わかやまけん作

こぐま社

しろくまちゃんは、おかあさんといっしょに、ホットケーキをつくりました。見開きで、ホットケーキがだんだんできあがるようですが、子どもは大好きなようです。



『いちご』  
平山和子 作

福音館書店

最初にてあう科学絵本の1冊です。小さくてかたい青い実がだんだん大きくなり、さいごに大好きないちごになる様子を、大きな喜びと、驚きを感じるでしょう。



『にんじん』  
せな けいこ作・絵

福音館書店

にんじん好きな子だあれ？うまさん、うさぎさんなど、いろんな動物がおいしそうににんじんを食べています。きらいな子が多いにんじんですが、すき！っていつてくれるかもしれせん。



—のりもの—



『がたんごとん  
がたんごとん』

安西水丸 作

福音館書店

「がたんごとん」というくりかえしのことばが、耳に心地よい絵本です。きしゃにのるものも、赤ちゃんの身近なものばかりです。



『あなたはだあれ』

松谷みよ子 文

瀬川康男 絵

童心社

あてっこ絵本。型ぬきされたものが何か、なき声や音であてていきます。ページをめくると、だれかわかります。お子さんとのやりとりが楽しい絵本です。



『じどうしゃ』

寺島龍一 画

福音館書店

文字なし絵本ですが、よく見ていくと絵が続き、おはなしが作れそうです。

じどうしゃの型は古いですが、十分楽しめます。



『のせて のせて』

松谷みよ子 文

東光寺 啓 絵

童心社

まこちゃんが、いろんな動物をのせながら、じどうしゃをはしらせていると、まっくらなトンネルにはいってしまいます。見えなくなってしまったまこちゃんたちの姿が見えたときがうれしいようです。



『ぶーぶー

じどうしゃ』

山本忠敬 作

福音館書店

乗用車やはたらくじどうしゃが、本物に忠実に描かれています。文章もそのじどうしゃが発する音からはじまっていて、リズム感があります。



『バルンくん』

こもりまこと 作

福音館書店

バルンくんは、バババババレーッと軽快に走ります。じどうしゃの表情も楽しい絵本です。



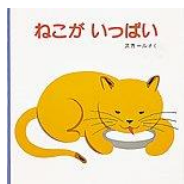
『とどくかな』

三浦太郎 作

偕成社

ひとやものをうへはこびあげるくるまたち。たかいところまでとどくかな？ はたらくくるまシリーズとして、「まかせとけ」「よいしょ」があります。

—どうぶつ—



『ねこが いっぱい』  
グレース・スカルル作  
やぶきみちこ 訳

福音館書店

おおきいねこ、ちいさいねこ、いろんなねこがでできます。ことばと絵が合っていて、わかりやすい絵本です。



『こんにちは  
どうぶつたち』  
とだきようこ 案  
さとうあきら 写真

福音館書店

写真絵本。動物の正面のアップの写真が、ページをめくるたびにでてきて、みつめられているようです。



『もう おきるかな?』  
松野正子 文  
藪内正幸 絵

福音館書店

いろんな動物のおやこがなえています。もうおきるかな、とページをめくると、動物たちがおきています。絵が写真のようで、まわりの空白で、立体的に見えるのが効果的です。



『たまごのあかちゃん』  
神沢利子 文  
やぎゆうげんいちろう 絵

福音館書店

たまごから、「でておいでよ」のかけこえにこたえて、次々と、赤ちゃんがうまれます。

どんな赤ちゃんがでてくるか、ワクワクする絵本です。



『どうぶつのおやこ』  
藪内正幸 絵

福音館書店

文字なし絵本。いろんな動物のおやこのすがたは、安心感をあたえてくれます。



『ここよ ここよ』  
神沢利子 作  
藪内正幸 絵

福音館書店

「どこに いるの?」の呼びかけにおかあさんの陰に隠れていた赤ちゃんたちが顔を出します。すくれた絵の動物のおやこの表情は、幸せな気持ちになれます。



『どうぶつのおかあさん』  
小森 厚 文  
藪内正幸 絵

福音館書店

動物のおかあさんは、どんなふうに子どもとっしょにいるのかな。

動物や植物は、写真より絵のほうが、質感など、より本物に近い感じを受けるものがあります。



『こやぎがめえめえ』  
田島征三 作

福音館書店

こやぎがめえめえ、元気にぴよん。おなかがすいたら、ちゅうちゅう、お母さんのおっぱい。元気に育つこやぎのすがたが力強く描かれています。



## せいかつ



『きゅっきゅっきゅっ』  
林 明子 作

福音館書店

みんなで、おいしいスープをのんでいたら、あれね、こぼしちゃった。いつも、やってもらっているように、ふいてあげるね。



『おててがでたよ』  
林 明子 作

福音館書店

ひとりでシャツきられるかな？あれね、なんにも見えなくなっちゃった。  
ひとりでできるようになった喜びが伝わってきます。



『だっこして』  
にしまきかや 作

こぐま社

カンガルーもひよこも、小さいときはだっこが大好き。  
愛して守ってくれる人のそばにいることは、とても心が安らぐことです。



『くつあるけ』  
林 明子 作

福音館書店

くつがおさんぽにでかけます。スキップしたり、ころんだり・・・。あんよがでできる所に読んであげるといいでしょう。

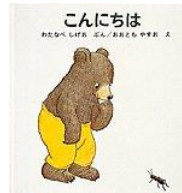
子どもは絵本の登場人物に、自分を同化させて楽しめます。成長にあった絵本を読んであげるといいと思います。



『おさじさん』  
松谷みよ子 文  
東光寺 啓 絵

童心社

ごはんを食べるときに使うおさじ。おさじはおくちのトンネルにごはんをはこぶきしゃぼっぽ。食事が楽しくなるおはなしです。



『こんにちは』  
渡辺茂男 文  
大友康夫 絵

福音館書店

「こんにちは」を覚えてくまくんが、会うものみんなにごあいさつする、とても愛らしい絵本です。



『したく』  
ヘレン・  
オクセンバリー 作

文化出版局

文字なし絵本。これから外におでかけかな？  
洋服をだんだんに着ていくようすは、赤ちゃんにとっても身近なものです。



『くまのテディちゃん』  
グレタ・ヤヌス作  
ロジャー・デュボアザン 絵

こぐま社

ぬいぐるみのテディちゃんが、「自分のもの」をひとつひとつ見せてくれます。自分のものを持つうれしさが伝わってきます。



『いただきます』  
渡辺茂男 文  
大友康夫 絵

福音館書店

じょうずに食べようとして、大失敗。くまくんのいっしょうけんめいさと、さいごの満足そうな顔がかわいい絵本です。



『ねないこだれだ』  
せなけいこ 作

福音館書店

こんなかわいいオバケでも、子どもはこわくて、でも大好きです。「ねないとオバケができるよ」なんていわないでくださいね。



『おやすみなさい  
コッコさん』  
片山 健 作

福音館書店

「OOがねてもコッコはねむらないもん」を何度かくりかえしながら、ねむりにつくコッコさん。子どものねむるようすが優しく描かれています。



『どうすればいいのかな?』  
渡辺茂男 文  
大友康夫 絵

福音館書店

ひとりで服が着られるかな?  
くまくんのまちがいが楽しく、ちゃんと着られるとうれしい絵本です。

## うたの絵本

うたったり、手あそびをしてあげるとは、赤ちゃんとのコミュニケーションの手段です。うたの絵本や、歌うように節をつけて読むと楽しい絵本もあります。



『あがりめ さがりめ』  
『あんたがたどこさ』  
『いっしょにうたって!』  
ましませつこ 絵

こぐま社

なつかしいわらべうたや童謡をあつめた絵本です。



『うたえほん』  
I～III  
つちだよしはる絵

グランママ社

童謡、唱歌から民謡まで、はばひろく収められています。



『ひらいた ひらいた』  
わかやまけん 作

こぐま社

童謡「ひらいた ひらいた」の節にことばが合っているので、うたいながら読むことができます。



『めのまど あけろ』  
谷川俊太郎 文  
長 新太 絵

福音館書店

見開き1ページの詩の絵本です。ただ読むだけより、詩ごとにあつた節をつけて読むと、もっと楽しくなるでしょう。

## はじめてのものがたり絵本



『おつきさま  
こんばんは』  
林 明子 作

福音館書店

くらくらした空にぽかりまんまるおつきさま。おつきさまとおはなしします。表紙と裏表紙をひっくり返すと、おつきさまに表情がつかます。

ことばの力が発達してくる時期になったら、物語を楽しめるようになります。はじめは、わかりやすいストーリー展開や、くり返しがあるものなどがいいでしょう。

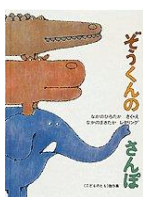


『三びきのやぎの  
がらがらどん』

北欧民話  
マーシャ・ブラウン作

福音館書店

三びきの大きさのちがうやぎ。なまえはどれも「がらがらどん」。山の草場で太ろうと出かけますが……。くり返し楽しい昔話絵本です。北欧の自然をみごとに再現しています。



『ぞうくんのさんぽ』  
なかのひろたか 作

福音館書店

動物たちがぞうくんの背中にのっておさんぽにでかけます。途中でころんで池の中。それでもみんなごきげんです。



『てぶくろ』  
ウクライナ民話  
ラチョフ絵

福音館書店

おじいさんが落とした片方のてぶくろ。すると、森の動物たちが次々とやって来て、てぶくろに住むことにします。てぶくろの中に7匹も動物が入る不思議なウクライナの昔話です。

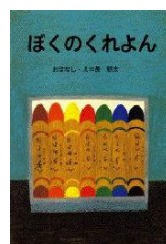


『おおきなかぶ』  
ロシア民話  
佐藤忠良 絵

福音館書店

おじいさんがかぶをうえました。大きくなったかぶをぬこうとしましたが、ぬけません……。

「うんとこしょ、どっこいしょ」と声を出したくなるような文章に心地よいリズムがあります。



『ぼくのくれよん』  
長 新太 作

講談社

ぞうくんの大きなクレヨンでかく繪は、迫力まんてん。おはなしのおもしろさと、スケールの大きさが、心を大きくしてくれそうです。



『はらぺこあおむし』  
エリック・カール作

偕成社

あおむしが、いっぱい食べて美しいちょうちょに変身します。穴あきのしかけがあり、子どもの興味をそそる本です。

## 赤ちゃんから図書館の利用者カードが作れます

### 【図書館で本を借りるには】

- 利用者カードが必要です。
  - ・ 「利用者登録申請書」に必要事項を記入してください。
  - ・ 氏名・住所・生年月日が確認できるもの（運転免許証・保険証など）を見せてください。
- 掛川市に住んでいる方・お勤めまたは通学している方はどなたでもカードが作れます。
- 図書館の資料は無料で利用できます。
- インターネットで市内3館の資料の検索、予約ができます。

ホームページアドレス <http://library.city.kakegawa.shizuoka.jp>

### 掛川市立中央図書館

〒436-0079掛川市掛川1 1 4 8 - 1  
T E L 0537-24-5921  
F A X 0537-23-6183

### 掛川市立大東図書館

〒437-1421掛川市大坂7152  
T E L 0537-72-1143  
F A X 0537-72-1144

### 掛川市立大須賀図書館

〒437-1304掛川市西大淵63-2  
T E L 0537-48-5269  
F A X 0537-48-5278

『こんにちは えほん』  
— 赤ちゃんがはじめて出会う絵本  
図書館員のおすすめブックリスト—

平成23年4月 改訂版